



北足柄小学校 学校だより

# やま 桜

令和2年8月21日  
南足柄市立北足柄小学校  
第6号  
校長 藤澤 恭子

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に入ってから4月、5月は休業措置となり、6月から学校が再開されました。その影響で、今年の夏季休業は、8月5日（水）から8月18日（火）の2週間でした。

例年およそ40日間の夏季休業のところを、今年は本当に短い夏季休業でした。

8月19日（水）8時少し前に、暑い中、子供達が元気よく登校する姿を見て、まずは夏季休業明けに学校が再開されたことに感謝しました。ご家庭の皆様、地域の皆様ありがとうございました。当たり前の事とはいえ、今年は、当たり前のこと一つ一つに喜びを感じます。

## 感染防止対策を考えて

## 子供達が考えた全校遊びから学んだこと

7月22日（水）に、延期されていた全校遊びを行いました。感染防止対策の3密（密閉・密集・密接）や飛沫感染防止のための大声を出すことを避けた全校遊びを子供達が考えました。コロナ禍の中、安全・命を守るために制約されることが多々あります。

しかし、制約を逆に利用して「工夫することを楽しむ」といった前向きな姿勢・生き方を子供達の遊ぶ姿から学びました。

全校集会（全校遊び）  
 日時：7月22日（水） 12時45分  
 場所：グラウンド  
 内容：暗れの日 ジェスチャーゲーム 英語道  
 暗れの日 ジェスチャーゲーム  
 持ち物：赤白ぼうし  
 暗れの日 ジェスチャーゲーム  
 暗れの日 ジェスチャーゲーム



子供達が、いろいろ考え工夫した遊びで、子供達も職員も一緒に楽しみました。

# あきらめず つないでくださった 希望を未来へとつなごう

夏季休業が終了し、学校が再開された8月19日（水）の朝会で、私達に渡された希望のバトンについて話をしました。夏季休業に入る前の朝会で、戦争や平和について調べたり、家族と考える機会をもったりしてほしいと、子供達に投げかけました。夏季休業明けの朝会は、その続きです。

まず、今年、広島で行われた被爆75周年の平和記念式典で、広島市長の「平和宣言」に続いてこども代表が発信した「平和への誓い」の全文を読み上げ紹介しました。

「75年が経った今、広島は、…家族で笑い合い、友達と学校に行き…、気持ちよく明日を迎え、様々な人と会う。当たり前前の日常が広島には広がっています。しかし、今年の春は違いました。当たり前だと思っていた日常は、ウイルスの脅威によって奪われたのです。当たり前前の日常は、決して当たり前ではないことに気付かされました。そして今、私たちはそれがどれほど幸せかを感じています。（抜粋）」

コロナ禍の中、今に生きる子供達、私達は、当たり前前の日常の尊さを痛感しています。

そして、当たり前前の日常が奪われ、何よりも尊い命が奪われてしまう「戦争」は、二度としてはならないと、強く思うのです。



私たちは、互いに認め合う優しい心を持ち続けます。



私たちは、相手の思いに寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。

被爆地広島で育つ私たちは、当時の人々があきらめずつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。

令和2年（2020年）8月6日 平和への誓い こども代表（抜粋）

<放送予定>

◇8月22日（土）放送  
NHKニュース おはよう日本  
けさのクロスアップ 7時台  
◇9月1日（火）動画配信  
NHKワールド・ジャパン  
ニュースルーム 東京



次に、戦争中、私達の地域にあった「神奈川第一抑留所」（太平洋戦争が始まり、連合国外身の外国人は敵国人として抑留されました）について、今年の8月9日（日）に、NHKワールド・ジャパンが、旧北足柄中学校と北足柄小学校で取材をされたときのことを話しました。

当日は、当時抑留されていたシディンハム・デュア氏のご息の出羽仁様、「敵国人抑留所」について研究されている小宮まゆみ様、「異人館はショコラ色」（橋本哲原作）の紙芝居の絵を描かれた久保田和男様、当時の様子を知る鈴木孝夫様、劇団ぼぼの鈴木宏江様等が参加されました。

シディンハム・デュア氏が、抑留中に書き綴った『デュア日記』を直に拝見させていただくことが出来ました。『デュア日記』に記された75年前の文字（写真）を子供達と一文字一文字読みながら、当時、食料が少なく体が参ってしまう大変な状況であったことを読み取りました。

昨年度、小宮まゆみ様が6年生の授業でご講話いただいたときに、「『デュア日記』に書かれていた内容から、デュアさんは原爆投下の情報を、数日後に知っていたのはなぜか？」と質問した児童がいました。抑留者の食料や生活環境、情報の入手等様々な視点で疑問を持つことは、「戦争」についてより深く知ることにつながるのだと思いました。

戦争を体験された方々、戦後傷つきながら復興にご尽力された方々、戦争の歴史を伝える研究者の方々、報道の方々、地域で語り継いでいられる方々、そして私達。戦争のない平和な未来に、希望のバトンを確実につないでいきたいです。



神奈川第一抑留所



戦時北足柄中学校として使用

八月七日（火）晴天非常なる日だ  
栄養不良と睡眠不足（夜 蚊）  
皆 体は大分弱っている  
この食料では 参る事だ

